

## 図書 紹介

### カラー図解 カビ苦情・被害管理マニュアル 第5巻

監修：高鳥 浩介 (NPO 法人カビ相談センター)

発行：NPO 法人カビ相談センター／〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 13-1／

☎03-6421-9165／A4 判バインダー形式／86 頁／価格 4,800 円 (税別) ／2016 年 12 月 1 日発行

NPO 法人カビ相談センターから発行されたバインダー形式のカビの実用書の第5巻目である。

本書はカビによる苦情や被害など事件事例を紹介し、なぜカビが発生するのか、発生した場合はどのように解決したらよいかを平易にカラー写真を交えて解説したものである。

編集協力者は、高鳥美奈子、宮崎知佳、田中詩乃、松本美奈子、富阪恭子、田中礼子、常盤俊之、水ト慶子(NPO 法人カビ相談センター)、吉田健介、丸山弓美(公社・日本食品衛生協会)、渡辺麻衣子(国立医薬品食品衛生研究所)、小沼ルミ(東京都立産業技術研究センター)、久米田裕子(大阪府立公衆衛生研究所)、太田利子(相模女子大学)、村松芳多子(新潟県立大学)及び高橋淳子(桐生大学)の 16 名でそのうち 15 名が女性であり、その配慮が随所に見られる。

目次は、以下に示す 20 属(又は属種)のカビ(カタカナ表記と俗名は本文中のもの)のそれぞれについて、苦情・被害事例でのキーワード、こんなところにいます、こんな特徴があります、カラー図解ページ、培養の条件基本、カビの発生しやすい環境、一口メモ、カビ発生に対しての基本管理—制御対策—及び管理のポイントの項目について 4 頁構成で利用法が解説されている。

*Acremonium* アクレモニウム

*Ascosphaera apis* アスコスフェラ・アピス(俗名 ハチノスカビ)

*Aspergillus flavipes* アスペルギルス・フラビペス

*Aspergillus sydowii* アスペルギルス・シドウィ

*Aspergillus tamaris* アスペルギルス・タマリ

*Doratomyces* ドラトミセス

*Eurotium repens* ユーロチウム・レペス(俗名 カワキコウジカビ)

*Eupenicillium* ユーペニシリン

*Gliocladium* グリオクラデイウム

*Humicola* フミコーラ

*Mucor hiemalis* ムコール・ヒーマリス(俗名 ケカビ)

*Mucor racemosus* ムコール・ラセモサス(俗名 ケカビ)

*Penicillium commune* ペニシリウム・コンミュン

*Penicillium decumbens* ペニシリウム・デクンベンス

*Penicillium implicatum* ペニシリウム・インプリカータム

*Penicillium roqueforti* ペニシリウム・ロックエフォルティ

*Scedosporium* セドスポリウム

*Scolecobasidium* スコレコバシディウム

*Thamnidium* タムニディウス(俗名 エダチカビ)

*Ulocladium* ウロクラディウム

本書は、カビの被害例、特徴、発生要因、制御管理を中心にまとめており、カビ被害、検査、相談、管理などで困っている時に活用できる実用書である。紙質も厚めで、写真はオールカラーで構成されている。本の背を糊で綴じただけの状態なので、用途に応じて分離し、二つ穴パンチのバインダーに収集して利用できる。自分なりに並び替えたり、書き込みができたり、オリジナルなマニュアルとして利用できる。品質管理、検査、研究などでカビを取り扱う会員諸氏には是非手元において活用されたい。別にカビ1種ごとの電子書籍タイプ(9頁、税別300円、第1・2巻掲載の40種を配信中)もあるので、必要分のみを個人の資料にも利用できる。会員割引(税別4,000円)もあり、別売(税別2,000円)で3巻収納可能なバインダーも用意されている。

なお、本書は、第1巻は2011年7月、第2巻は2012年2月、第3巻は2013年8月及び第4巻は2014年12月に発行されており、第2巻は本誌40巻6月号(2012)に「図書紹介」が掲載されている。(学会事務局)